

研究に関する公開情報

研究課題名

発達障害、およびその傾向のある学生に対する支援ニーズ把握のためのスクリーニング尺度の開発

研究期間

2019年から2024年

研究の意義、目的

本研究では、発達障害(自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症)の診断、およびその傾向のある学生の大学における修学上のニーズを把握し、支援につなげるためのスクリーニング尺度を開発することを目的としています。このような尺度が開発されることにより、修学上の困難さを有する発達障害学生を適切に把握することができ、早期の支援に結びつけることが可能となります。またスクリーニング尺度の結果より、当該学生が、修学上のどのような点に対してニーズを有しているのか把握することも可能になり、円滑な合理的配慮の実施につながると考えられます。

方法

発達障害学生：発達障害の診断、及び修学上の配慮を受けている学生を対象とします。対象となる学生へ研究目的、方法を明記した書面を配布し、研究参加に同意が得られた学生に対し質問紙を実施します。

定型発達学生：学部新生 約 2800 人を対象とし、新生学生健康診断時に使用される質問票用いてデータを取得します。

問い合わせ窓口

研究内容に関する疑問や、研究参加を拒否される場合などについては、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

九州大学基幹教育院

横田晋務

yokota(at)artsci.kyushu-u.ac.jp

(at)を@に置き替えてください